

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(絵画科)

科目 区分	必修選択 の区分	授業科目	実務教員 による授業	うち シラバス添付	第一学年		第二学年		授業時数	実務教員授業時数		うちシラバス添付時数	
					週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年
					講 義	必 修	近代絵画史	●			2	50	
		絵画論	●		2	50			50	50			
		アートプランニング	●				2	8	8		8		
		現代美術論	●		2	50			50	50			
		オリエンテーション	●		2	8	2	4	12	8	4		
		計				158		12	170	158	12		
	自由選択	キャリアガイダンス	●		2	8			8	8			
		計				8			8	8			
演 習	自由選択	自由課題	●		4	96			96	96			
		描画ゼミ	●		4	218	4	218	436	218	218		
		計				314		218	532	314	218		
	必 修	美術作品鑑賞	●		6	30			30	30			
		絵の具工場見学	●		8	8			8	8			
		計				38			38	38			
実 技	必 修	デッサン基礎	●		4	4			4	4			
		木炭デッサン演習①	●		4	4			4	4			
		木炭デッサン演習②	●		4	12			12	12			
		木炭デッサン演習③	●		4	16			16	16			
		木炭デッサン演習④	●		4	16			16	16			
		鉛筆デッサン演習①	●		4	4			4	4			
		鉛筆デッサン演習②	●		4	12			12	12			
		鉛筆デッサン演習③	●		4	16			16	16			
		油彩演習①	●		4	8			8	8			
		油彩画1	●		4	16			16	16			
		油彩画2	●	★	4	36			36	36		36	
		水彩演習①	●		4	4			4	4			
		水彩画	●		4	16			16	16			
		アクリル画演習	●		4	8			8	8			
		アクリル画1	●		4	12			12	12			
		アクリル画2	●		4	52			52	52			
		パステル演習	●		4	20			20	20			
		選択デッサン1	●		4	20			20	20			
		選択デッサン2	●		4	20			20	20			
		選択デッサン3	●		4	20			20	20			
		選択デッサン4	●		4	24			24	24			
		選択デッサン5	●		4	28			28	28			
		選択デッサン6	●		4	24			24	24			
		選択デッサン7	●		4	32			32	32			
		日本画演習	●		4	120		64	184	120	64		
		野外課題	●		4	20			20	20			
		選択着彩1	●		4	40			40	40			
		選択着彩2	●		4	40			40	40			
		選択着彩3	●		4	48			48	48			
		選択着彩4	●		4	36			36	36			
		選択着彩5	●	★	4	64			64	64		64	
		彫塑	●		4	24			24	24			
		夏期課題	●		4	84	4	84	168	84	84		
		冬期課題	●		4	44			44	44			
		春期課題	●		4	64			64	64			
		進級デッサン	●		4	48			48	48			
		進級着彩	●		4	96			96	96			
		小計				1,152		148	1,300	1,152	148	100	0

科目 区分	必修選択 の区分	授業科目	実務教員 による授業	うちシラバス添付	第一学年		第二学年		授業時数	実務教員授業時数		うちシラバス添付時数			
					週間授業時数	年間授業時数	週間授業時数	年間授業時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年		
実 技 演 習	必	混合技法	●				4	28	28		28				
		全紙デッサン	●				4	32	32		32				
		自由着彩1	●				4	44	44		44				
		自由着彩2	●				4	44	44		44				
		自由着彩3	●				4	36	36		36				
		自由着彩4	●	★			4	56	56		56		56		
		絵画表現1	●				4	48	48		48				
		絵画表現2	●				4	68	68		68				
		絵画表現3	●				4	72	72		72				
		絵画表現4	●	★			4	48	48		48		48		
		卒業制作1	●					4	48	48		48			
		卒業制作2	●					4	368	368		368			
		講評会	●				4	78	4	66	144	78	66		
		計						1,230		1,106	2,336	1,230	1,106	100	104
		小計						1,426		1,118	2,544	1,426	1,118	100	104
そ の 他		東美祭、運動会					100		100	200					
		健康診断					4		4	8					
計						104		104	208						
必修科目(講義・実技・演習)授業時数						1,530		1,222	2,752	1,426	1,118	100	104		
自由選択科目授業時数						322		218	540	322	218				
卒業に必要な総授業時数						1,530		1,222	2,752	1,748	1,336	100	104		

※上記、実務教員授業時数の合計には、自由選択科目を含んでいます。

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2019	1年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	油彩画2	森吉 健	36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・実技体験を通して画材に慣れることを目指す。			
【授業概要】			
・油彩画についての基礎的な説明。描く上での考え方や使用画材の用途についての指導をする。			
・この授業を通じて油彩画材料の基本的な知識を学び描画を行い、実際の道具に触れて体験してみる。			
・習得必須である油彩画材料への親しみを覚えることを目的とし、今後の制作活動に繋がっていくよう指導していくこととする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	油彩画2 エスキース・作業		
2	油彩画2 作業		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	批評会		
10			
11			
12			
13			
14			
15			
【成績評価方法】			
授業概要、狙いの理解度、出席時数の総合点。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
最初の演習授業ではデモンストレーションを交えて丁寧に教えていく。そこから油彩画材料への親しみを覚えることを目的とした制作作業をさせる。担当教員は第9回前田寛治大賞展で佳作第三席受賞経験あり。現在日本美術家連盟会員。			
カルチャースクールも開いており、個展やグループ展も多く開催している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2019	1年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	選択着彩5	小林 次男	64時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・絵の具を使用しての描画力を高めるために、考えを持ってトレーニングを繰り返しレベルを確認する。			
【授業概要】			
・着彩のトレーニングを繰り返す。描画材は油彩、アクリル絵の具、水彩絵の具から選択。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース、デッサン、描画		
2	描画作業		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	"		
12	"		
13	"		
14	"		
15	"		
16	批評会		
【成績評価方法】			
絵画理論を理解しているか、画材や色彩に対する見地が高まっているかを確認する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
モチーフを変えながら、見方、考え方を繰り返す。描画力、絵の具の理解を高めるよう、指導する。			
担当講師は銅版画を専門に活動しており、国際美術トリエンナーレ審査員特別賞、ウヅジ国際版画ビエンナーレ最高賞受賞、ベラルーシ国際小版画トリエンナーレ1等受賞と、海外で数多くの作品を発表し、受賞している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2019	2年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	絵画表現4	中山 正樹	48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・出題内容をよく咀嚼し、エスキースを重ねる。課題内容をより深く理解する。			
【授業概要】			
・絵画に於ける先人達が描いた関心のある絵画をモチーフに制作をする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	エスキース		
2	制作		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	"		
12	"		
13	"		
14	"		
15	批評会		
【成績評価方法】			
「狙いと到達目標」を総合的に審査する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
絵画科1年生では写実(デッサンを含む)を基本として学習し、2年次の絵画表現の授業では1年次で学習したことを基礎として更に発展させた課題を実習していく。担当講師はスルガ台画廊の個展をはじめとして、ときわ画廊、藍画廊、田 その他多くの画廊で個展を行う。海外の画廊でも多くの作品を発表している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	絵画科 昼間部(2年制)	2019	2年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実技	自由着彩4	三野 哲二	56時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>・構図を工夫し、人体の動き(形の流れ)を求め、空間感(背景と人物の関係)や色彩表現(形による立体感や存在感等)を行い 独自性を高める。</p>			
【授業概要】			
<p>・人体描画を通して絵画表現を探る。 ・女性モデル人体着衣/ノースリーブで無地かストライプ、長髪ならアップにするか束ねる。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業前半 クロッキー・後半制作		
2	"		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	"		
10	"		
11	"		
12	"		
13	"		
14	"		
15	批評会		
【成績評価方法】			
「狙いと到達目標」を総合的に審査する			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>制作作業が基本。授業開始から前半が、人体の動きを訓練するクロッキー、後半に静止した状態のモデルさんを描く作業に入る。担当教員は古典技法のフレスコ画を中心として壁画制作や個展で作品発表を行っている。</p> <p>各美術大学等で集中講座を行い、現在は金沢美術工芸大学の非常勤講師、武蔵野美術大学の特別講師も勤める。</p>			